

東京都小学校社会科研究会

第4学年 学年別分科会



令和3年2月19日(金)

東京都小学校社会科研究会・研究発表会

令和2年度研究主題

社会とつながり未来を創る子供の育成

～社会的事象の見方・考え方を働かせ、
主体的に問いを追究する学習を通して～

社会科学習で育てたい子供とは？

知識・技能

思考力・判断力・表現力



社会をよく見て、
様子や仕組みが
分かる子

問い
を
もち

くらべたりつなげ
たりして特色や
意味を考える子



社会の出来事を自分とつなげ、
よりよい社会づくりに
関わっていこうとする子

学びに向かう力・人間性



社会科学習で育てたい子供とは？

- ◆社会をよく見て、様子や仕組みが分かる子
- ◆くらべたりつなげたりして特色や意味を考える子
- ◆問いをもち社会の出来事を自分とつなげ、
よりよい社会づくりに関わっていかようとする子



子供



分かる・考える



つながる



問い・関わり



社会

未来
発展

社会科学習で育てたい子供とは？

- ◆ 社会をよく見て、様子や仕組みが分かる子
- ◆ くらべたりつなげたりして特色や意味を考える子
- ◆ 問いをもち社会の出来事を自分とつなげ、よりよい社会づくりに関わっていかようとする子



希望
責任



子供

未来を創る

分かる・考える



つながる

問い・関わり



社会

未来
発展

令和2年度東京都小学校社会科研究会の研究

どのような学びのプロセスで育成するのか？

社会とつながり未来を創る子供

主体的な問題解決

現実社会を学習
対象とする段階

いかす

まとめる

調べる

つかむ

切り取られた
社会を学習対象
とする段階

【内容の取扱い】

- ◆自分たちにできることを考えたり選択・判断したりできるように配慮すること
- ◆多角的に考えて、これからの発展について、自分の考えをまとめることができるように配慮すること

社会事象との出会い

教材の開発・分析

令和2年度東京都小学校社会科研究会の研究

研究主題

社会とつながり未来を創る子供の育成

社会的事象の見方・考え方を働かせ、
主体的に問いを追究する学習をつくる研究の重点は？

教材開発・教材分析

- 見方・考え方を働かせる教材
- 関わり方を考える教材
- 人の働きを共感的に捉えられる教材
- 東京らしい教材



令和2年度東京都小学校社会科研究会の研究

研究主題

社会とつながり未来を創る子供の育成

社会的事象の見方・考え方を働かせ、
主体的に問いを追究する学習をつくる研究の重点は？

研究の重点内容

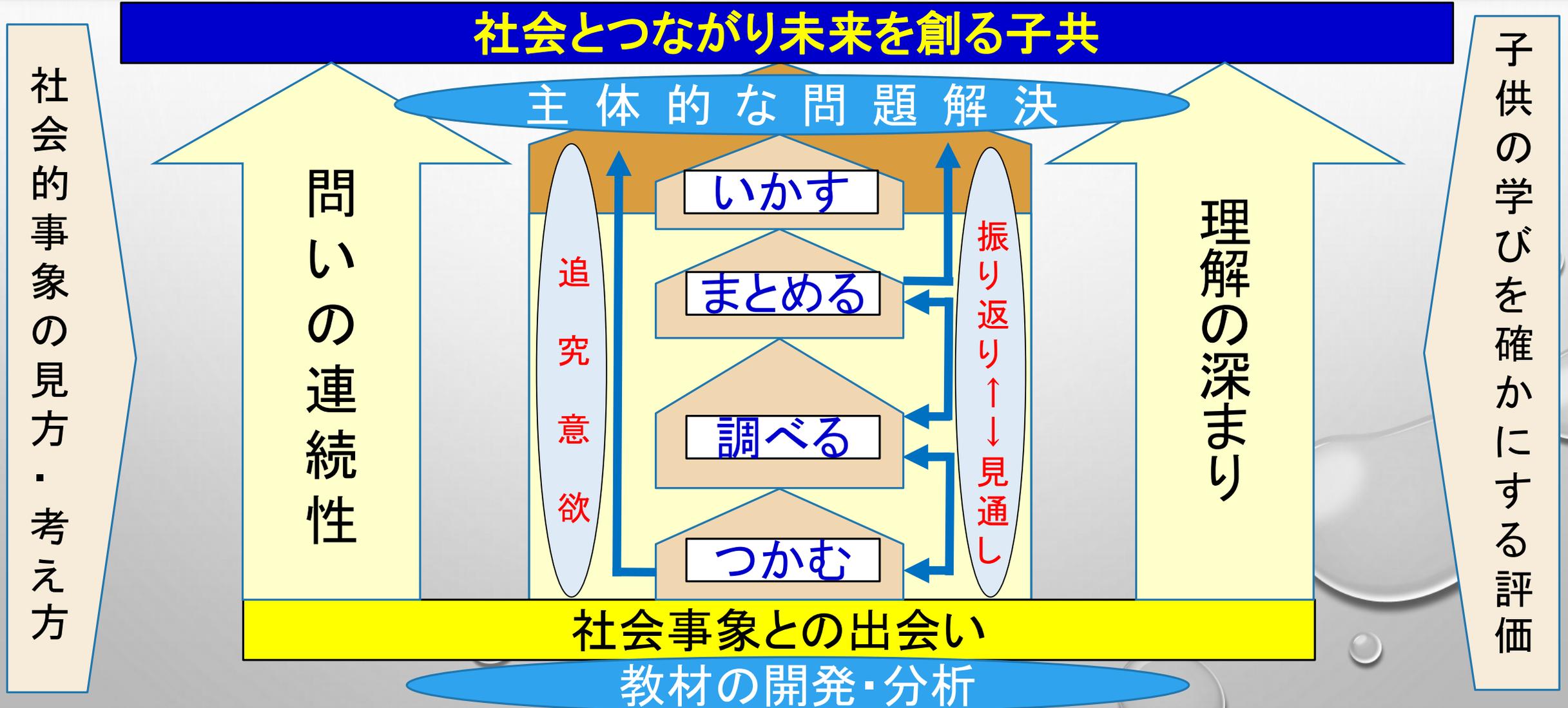
- ① 主体的に追究する問いの工夫
- ② 見方・考え方を働かせる学習活動の工夫
- ③ 子供の学びを確かにする評価の工夫



令和2年度東京都小学校社会科研究会の研究

どのような学びのプロセスで育成するのか？

社会とつながり未来を創る子共



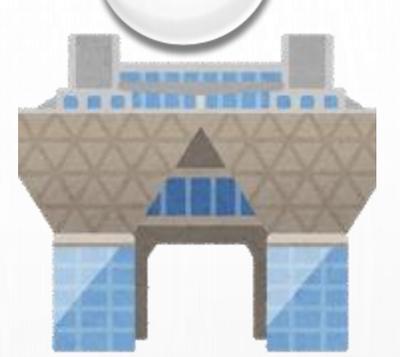
I 研究の成果



1

教師が教材研究の段階で「問いの構成図」を基に授業をデザインしておくことで、児童の思考（問いとそれに対する自分の考え）の連続性をもたせやすくなった。

I 研究の成果



2

「選択・判断」の学習活動が明確になった。

①行動の主体や立場を明確にすること

《例》 「自分」「自分たち」など

②既習事項を活用して自分の考えを書かせること

③ロールモデル（大人が考えた取組）や
ゲストティーチャーを効果的に活用すること

I 研究の成果



3

「学びのあしあと」を活用することで、児童も教師も **学びを明確に捉える** ことができました。

Ⅱ 研究理論

目指す児童像



自分たちの暮らす東京都への理解を基に、社会的事象の特色や相互の関連、意味を考え、東京都のこれからを考えようとする子供の育成。

Ⅱ 研究理論



研究の仮説

自分たちの暮らす東京都への確かな理解につながる**教材・問い・学習活動・評価**の工夫をすれば、児童が社会的事象の特色や相互の関連、意味を考え、東京都のこれからを考えようとする子供が育つであろう。

Ⅲ 研究の内容



1 主体的に追究する問いの工夫

○問いの分類と連続性や構造化

- 基礎研究「**問いとは？**」を作成
- 「**問い**」の**構成表**を作成し、**連続性や構造化**を図り、問いを整理

A	つかむ	学習問題につなぐための問い
B	調べる	社会的事象の特色を問うもの
C	考える	社会的事象の意味を問うもの
D	いかす	社会の課題を解決するための問い

Ⅲ 研究の内容

2 学習活動の工夫



○社会の課題解決への構想と

選択・判断する学習活動の工夫

- 基礎研究「**選択・判断とは？**」を作成
- 「**ロールモデル**」を示し、自分の考えを「**選択・判断**」させる
- 「**ロールモデル**」では、**課題**も提示
- **ゲストティーチャー**の活用
- **立場**や**主体**を明確にする
《例》 自分、自分たち
- **学習したことを基**に、その理由を考えさせる

Ⅲ 研究の内容

3 評価の工夫



○学習の見通しと振り返りの工夫

- 基礎研究「見通しと振り返りとは？」を作成
- 学習の見通しと振り返り → 『学びのあしあと』を活用。
『学びのあしあと』は、B4サイズ1枚のワークシート
《振り返ること》
①分かったことと ②学び方

Ⅲ 研究の内容

4 教材開発や教材分析



○社会の課題を捉え、発展やかかわり方を考えることにつながる教材の開発

- 学習する市区町村とは違ったごみ処理の取組を行っている他の自治体(小金井市など)の教材開発
- 単元全体では「自分たちの暮らす東京都」の事象を取り上げつつ、「選択・判断」する学習段階では、切実感を児童にもたせるため、児童にとって身近な地域の教材開発

IV 実践事例 I



「ごみの処理の利用」(全9時間)

☆ 実践のPoint! ☆

- ★いつでも自分事として捉えることができる
問いの工夫
- ★ロールモデルを活用した「選択・判断」する
学習活動
- ★「まとめる」段階と「いかす」段階の2回、
選択・判断の活動を取り入れる



足立区立平野小学校 板橋海 主任教諭

IV 実践事例 I



「ごみの処理の利用」(全9時間)

第1・2時

《問い》 自分たちの生活からは
どんなものがごみとして
出されているのだろう。

《問い》 学校や家庭では、
どのくらいのごみ
が出されているのだろう。

学習問題

私たちが健康でくらすために、ごみは誰がどのような工夫や努力をして集められ処理されるのだろうか。

学習計画

- ・ごみの集め方
- ・処理の仕方
- ・処理した後のもの
- ・清掃工場の工夫

つかむ

調べる

まとめる

いかす

IV 実践事例 I



「ごみの処理の利用」(全9時間)

つかむ

調べる

まとめる

いかす

第3時

《問い》 ごみを収集する人々は、たくさんのごみを残さず集めるためにどのような工夫や努力をしているのだろうか。

《考え》 ごみを収集する人たちは、早く回収できるよう、町の様子に合わせて、地図にルートを書きこむなど工夫をして収集している。

第4時

《問い》 燃やすごみは、どのように処理されているのだろうか。

《考え》 燃やすごみは、清掃工場に集められ、900°Cくらいの温度で焼却され、灰にしている。

第5時

《問い》 燃やさないごみは、どのように処理されているのだろうか。

《考え》 燃やさないごみは、不燃ごみ処理センターに運ばれ、くだいて細かくする。さらにそこから分別して処理をする。

IV 実践事例 I



「ごみの処理の利用」(全9時間)

つかむ

調べる

まとめる

いかす

第6時

《問い》 資源はどのように再利用されるのだろうか。

第7時

《問い》 ごみは、だれがどのように減量しているのだろうか。

《考え》 資源として集められた物は、リサイクル工場でとかされ、同じものや違うものにリサイクルされる。

《考え》 地域の人たちは足立区ができないような紙パックのリサイクルなどをして、ごみを減らす努力をしている。

IV 実践事例 I



「ごみの処理の利用」(全9時間)

第8時

1972年のようになっていないのは、いろいろな施設でいろいろな方法で処理されているからである。また、地域の人たちも区や都といっしょにごみを減らす努力をしている。だから私たちも地域の人と3Rをして、50年後もごみだらけにならないような街にするように努力しなければいけない。



学習問題に対する自分の考え



ごみは、ごみ収集車によって運ばれ、ごみによっていろいろな施設で、最適な処理の仕方をされている。自分たちは、3Rを意識してごみをなるべく少なくしていきたい。

つかむ

調べる

まとめる

いかす

IV 実践事例 I



「ごみの処理の利用」(全9時間)

第9時

《問い》 さらにごみを減らすために、
区や市がもっと工夫していることはないのだろうか。

【A児】小金井市では、足立区よりも細かく分別していることが分かった。小金井市の分別はとてもめんどろくさいが、50年で街がごみでうまってしまうことを考えると、小金井市のように足立区も細かく分別していくのがよいのではないかと思った。

【B児】小金井市では、足立区よりも細かく分別していることが分かった。小金井市の分別は大変なので、今できる分別をもっときちんと区民が行ってごみを少しでも減らすようにしていくのがよいのではないかと思った。



つかむ

調べる

まとめる

いかす

V 実践事例Ⅱ



「自然災害から人々を守る活動」 (12時間)

☆ 実践のPoint! ☆

- ★ 調べる問いと考える問いの授業デザイン
- ★ ゲストティーチャーを活用した「選択・判断」の学習活動
- ★ 「学びのあしあと」を活用した学習の見通しと振り返りの工夫



杉並区立桃井第三小学校 清閑寺由子 教諭

V 実践事例Ⅱ



「自然災害から人々を守る活動」 (12時間)

つかむ①

第1・2・3時

《問い》 東京都は、今までどのような自然災害が起こったのだろう。

《問い》 東京都は、今までどのような自然災害が多いのだろう。

《問い》 水害はどのような被害が起こるのだろう。

調べる①

学習問題①

水害の被害にあった人は、どのように助けられたのだろうか。

まとめる①

学習計画①

- ・警察、消防の取組
- ・区役所の人、地域の人取組

V 実践事例Ⅱ



「自然災害から人々を守る活動」 (12時間)

つかむ①

調べる①

まとめる①

第4時

《問い》 どのように被害にあった人々を助けたのだろう。
なぜ、たくさんの方が助けているのだろう。

第5時

《問い》 水害が起きた後、市役所や地域の人はどうしたのだろう。
なぜ、避難所を開いたのだろう。

《考え》 狛江市、自衛隊、消防庁など、みんなが協力して助けている。

《考え》 避難所を開いたり、物を運んだり、呼びかけたりしている。みんながつらいときだからこそ助け合おうとしているから。

V 実践事例Ⅱ



「自然災害から人々を守る活動」 (12時間)

つかむ①

第6時

国、東京都、市区町村、地域などみんなが協力して助け合った。一人では、何もできないし、助け合わないと乗り越えられないから、助けている。



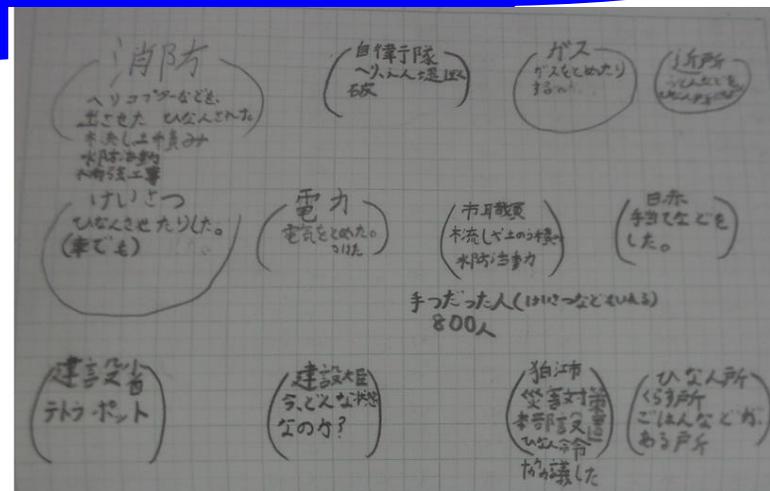
調べる①

学習問題に対する自分の考え

まとめる①



いろいろな人が協力して助け合っている。一人でも多くの人に生きてほしい。



V 実践事例Ⅱ



「自然災害から人々を守る活動」 (12時間)

つかむ②

第6時

水害は、過去のことじゃなく最近も起こっている。
備えが必要なんじゃないのかな？

調べる②

学習問題②

水害からくらしを守るために
人々はどのような準備をしているのだろうか。

まとめる②

第7時

学習計画②

- ・取水施設の取組
- ・避難訓練、学校の食料の取組
- ・情報活用の取組

いかす

V 実践事例Ⅱ



「自然災害から人々を守る活動」 (12時間)

つかむ②

調べる②

まとめる②

いかす

第8時

《問い》 水害が起きたときに、東京都や杉並区はどのような対策をしているのだろうか。どのような意図で、これらの施設をつくったのだろうか。

《考え》

- ・調節池など、溢れた雨水を一時的に貯める施設がある。
- ・区民やみなさんの命を救いたいから。

第9時

《問い》 水害がおきたときに、地域では、どのような対策をしているのだろうか。なぜ、市区町村はハザードマップを作っているのだろうか。

《考え》

- ・訓練をしたり、避難所を開いたり、助ける準備をしている。
- ・命を守るため、最善の方法をとってほしいから。

第10時

《問い》 なぜ、市区町村、東京都や国は、情報を発信するのだろうか。どのような情報を活用できるのだろうか。

《考え》

- ・すぐに情報を知りたいから。
- ・近所、遠方の細かい情報、安全な場所の情報を活用できる。

V 実践事例Ⅱ



「自然災害から人々を守る活動」 (12時間)

つかむ②

調べる②

まとめる②

いかす

第11時

学習問題に対する自分の考え

国	1	川の水位カメラ	1	すぎナビ	市	
			2	ツイッター	区	
	2	全国の情報	3	避難所(もの)	町	
	3	洪水の危険度	4	消防団(準備訓練)	村	
国土交通省		気象庁	5	ハザード	地区	
日赤消防		警察		マップ		
		自衛隊		6	HP	城
		NTT				
			東京ガスの電力	1	ツイッター	
				2	アプリ	
				3	調節池 <small>池</small> (区も)	
				4	下水道 <small>道</small> (区も)	
					道路(区も)	



V 実践事例Ⅱ



「自然災害から人々を守る活動」 (12時間)

つかむ②

第12時

《問い》 善福寺川の氾濫に備えて、
命を守るために自分にできることは何だろう。

調べる②

まとめる②

【A児】

自分も近所の人も安全に逃げるために、避難するときには、近所の人荷物をもつことを手伝いたい。

【B児】

避難グッズを用意する。また、学習したことを家族に伝える。なぜなら、防災倉庫に十分な食料がないから。



いかす

VI 提案授業



「江戸の文化を伝える浅草」 (9時間)

☆ 実践のPoint! ☆

- ★ 児童の興味・関心に合った資料による問いをつないだ学習問題づくり
- ★ 資料を比較して、空間的・時間的な見方を働かせる学習活動
- ★ 「学習計画表」を使った見通しと振り返り



江戸川区立本一色小学校 名所早苗 教諭

VI 提案授業



「江戸の文化を伝える浅草」 (9時間)

第1・2時

つかむ

《問い》 浅草はどこにあるのだろうか。

《問い》 どうして浅草は、多くの観光客が集まるのだろうか。

調べる

学習問題

浅草の人々は、どのようにして多くの観光客を惹きつける魅力をつくっているのだろうか。

まとめる

学習計画

- ・浅草寺や雷門などの古いもの
- ・まちを盛り上げる祭りやイベント

いかす

VI 提案授業



「江戸の文化を伝える浅草」 (9時間)

つかむ

調べる

まとめる

いかす

第3時

《問い》 浅草の人々は、浅草時や雷門などの古いものを生かして、どのように観光客を集めているのだろうか。なぜ、江戸文化をテーマにした通りに飼えたのか。

第4時

《問い》 浅草の人々は、雷門などの昔からまちに残るものをどのように守ってきたのだろう。雷門以外に、守ってきたものはあるのか。

第5時

《問い》 浅草の人々は、多くの観光客を集めるために、どのような取り組みをしているのだろうか。浅草の人々のみでまちづくりをしているのか。

《考え》 浅草の人々は、浅草のまちの良さである「古くから残る建物や文化」を大切に守り、他にはないまちの雰囲気をつくり出して観光客を集めている。その良さを広く知ってもらうため、伝法院通りを江戸をテーマにしたものに作りかえた。

《考え》 浅草の人々は、まちの人々が協力し合い、雷門などの古くから残るものの修理や建て直しをくり返し行いながら守ってきた。また、雷門以外にも、隅田川花火大会や三社祭など、古くから残る行事やお祭りも大切に守っている。

《考え》 浅草の人々は、サンバカーニバルや「浅草おかみさん会」の結成などの新しい取り組みを行ってまちを盛り上げ、観光客が喜ぶまちを目指して努力している。また、まちの人だけでなく役所の人やボランティアの人々とも協力し、まちづくりを行っている。

VI 提案授業



「江戸の文化を伝える浅草」 (9時間)

第7時

浅草には、浅草寺や雷門などの歴史あるものや、三社祭や隅田川花火大会などの行事といった、観光客を惹きつける魅力的なものがたくさんある。これは、浅草の人たちが協力して守り、取り組んできていることである。また、浅草の人たちは、区役所の人やボランティアガイドの人などとも協力して、浅草のまちを盛り上げている。



学習問題に対する自分の考え



浅草の人々は、区役所の人々やボランティアガイドの人々と協力しながら、浅草寺や雷門などの歴史あるものや、三社祭などの歴史ある行事を大切に守り、浅草にしかない魅力をつくっている。また、サンバカーニバルや新しいお土産の開発などの、まちを盛り上げる取り組みも積極的に行い、多くの観光客が「行きたい」と思えるまちをつくっている。

つかむ

調べる

まとめる

いかす

VI 提案授業



「江戸の文化を伝える浅草」 (9時間)

第8時

《問い》 江戸の文化を生かしてまちづくりを行う、
伝法院通り商店街会長の思いを考える。

- たくさんの人に浅草を訪れてほしい。
- 伝統ある浅草の街の雰囲気を楽しんでほしい。



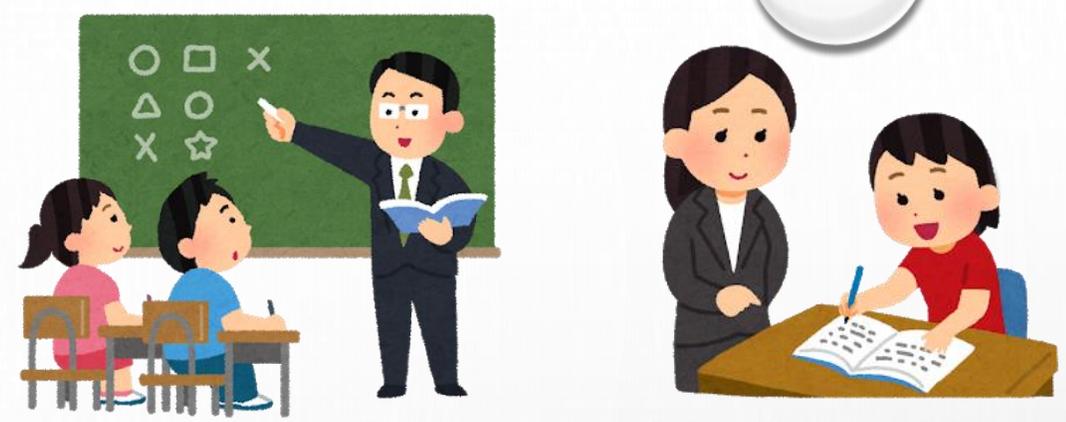
つかむ

調べる

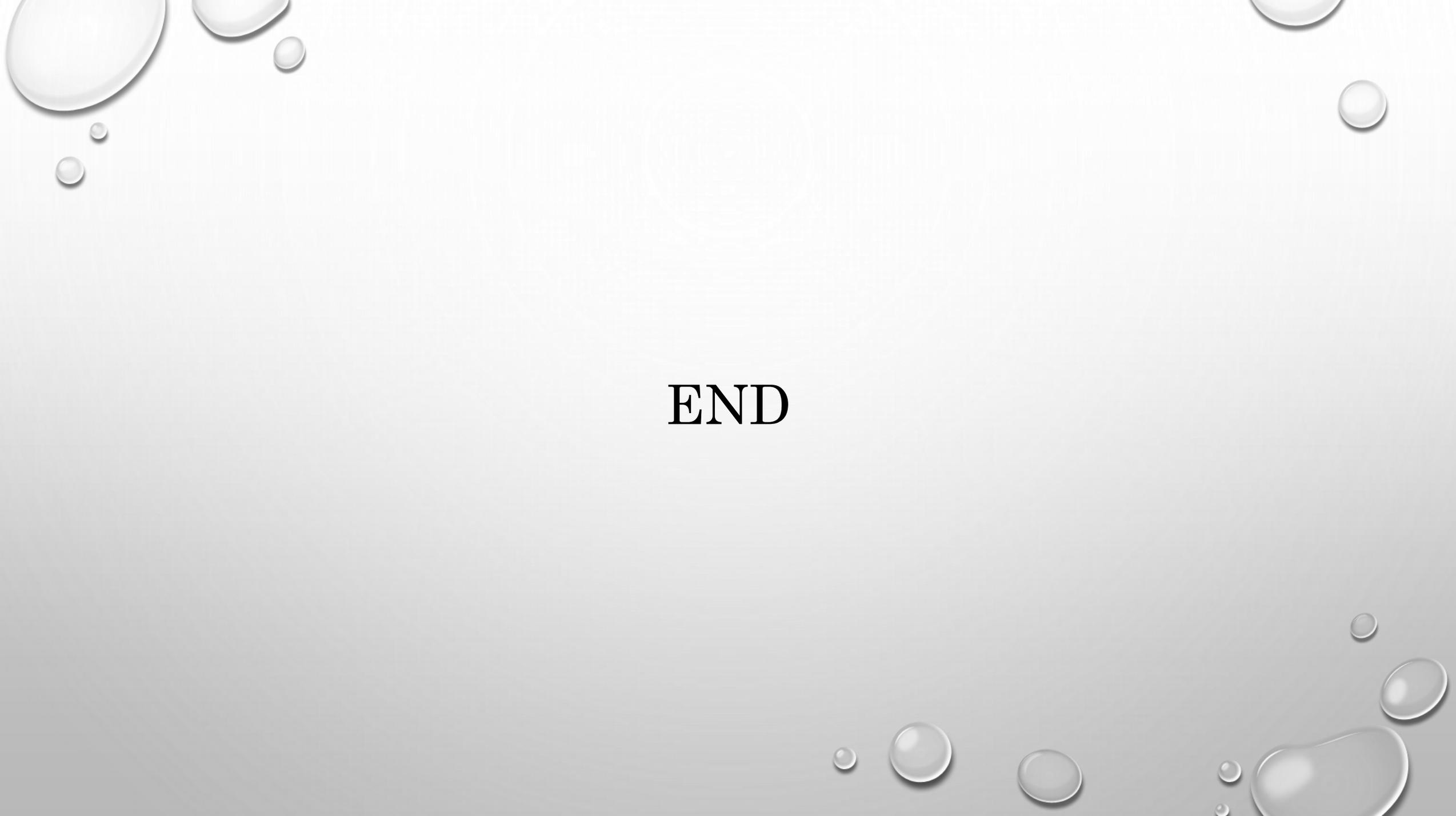
まとめる

いかす

VII 課題



- 実際に子供が持った「問い」についての分析を行い、問いについてさらに検証したい。
- 選択・判断の学習活動においては、実証授業以外の単元においても検証を重ねたい。
- コロナ禍の中でも児童が主体的・対話的で深い学びを実現できる方法を検討したい。



END